

広報

活力あふれ

ひとが輝く

安らぎのまち

伊万里

平成25年度 予算特集号



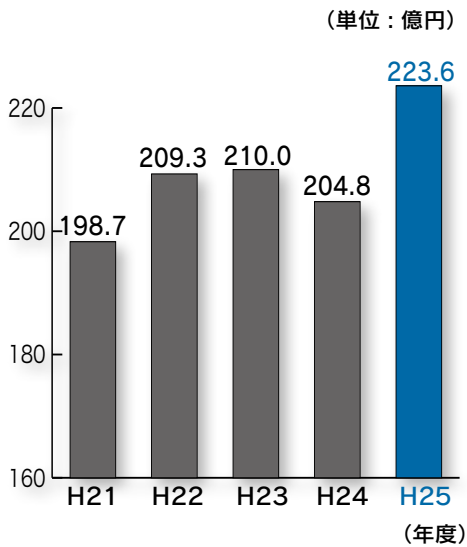
伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル
(平成24年10月14日：国見台陸上競技場)

一般会計

平成 25 年度当初予算総額

223 億 5,600 万円

一般会計予算額の年度別推移



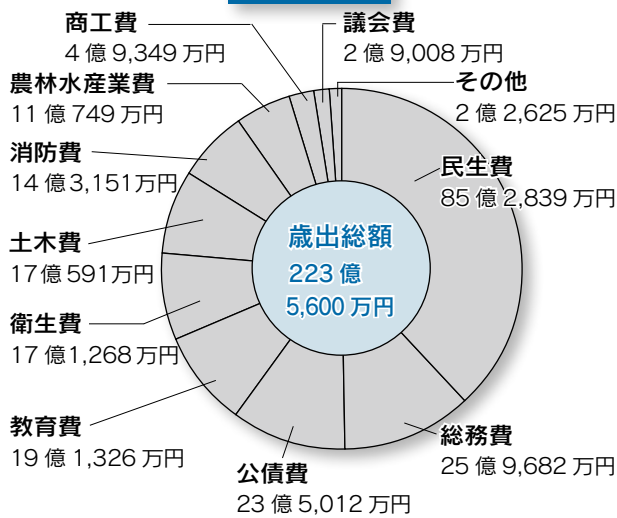
※平成 22 年度は 6 月補正後

政権交代後の経済再生に向けた緊急経済対策の効果に加え、世界経済の緩やかな持ち直しが期待されることから、我が国の経済は、緩やかに回復していくと見込まれるものの、当市の主要な財源である税収の伸びは不透明な状況であり、今後も厳しい財政状況が予想されます。このため、行財政改革の着実な推進による経費縮減と歳入確保を図るとともに、既存事業の徹底した見直しにより、限られた財源のなかで必要性および緊急性に配慮した予算編成に努めました。

歳入については、市内企業の設備投資の回復が不透明であることなどにより市税が減収となるものの、普通交付税は前年度より増額で見込み、基金繰入や市債の借入により財源の確保に努めました。一方、歳出については、障害者自立支援給付事業、ごみ処理広域化推進事業、森林整備加速化・林業再生事業、消防救急無線デジタル化整備事業、二里小学校建設事業などに重点的な投資を行いつつ、子育て支援策の充実や保健活動の推進、農林水産業および商業・観光の振興、学校教育の推進、消防・救急体制の充実などのために限られた財源を有効に配分した予算の編成を行いました。

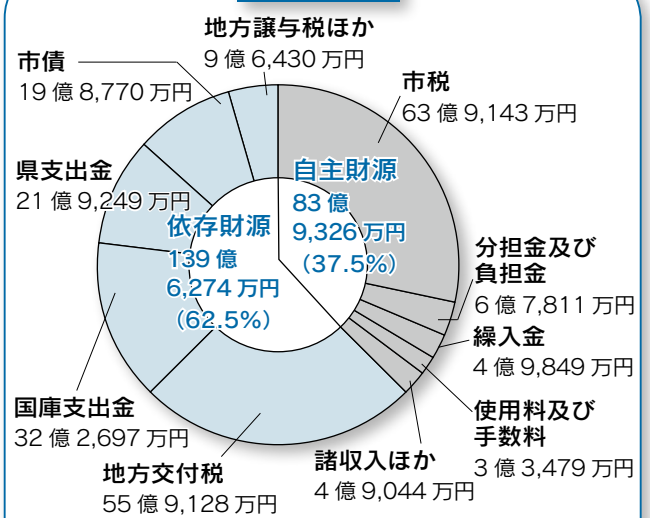
その結果、平成 25 年度の伊万里市一般会計予算は、総額で 223 億 5,600 万円となりました。これは平成 24 年度と比較すると、9.1%の増加となります。

歳出



- 民生費**……………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- 総務費**……………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- 公債費**……………借入金の返済に要する経費です。
- 教育費**……………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です。
- 衛生費**……………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- 土木費**……………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- 消防費**……………火災など災害に対応するための経費です。
- 農林水産業費**…農林水産業の振興に要する経費です。
- 商工費**……………商工業や観光の振興に要する経費です。
- 議会費**……………議会運営に要する経費です。
- その他**……………労働費、諸支出金、災害復旧費などです。

歳入



- 市税**……………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです。
- 分担金・負担金**…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- 繰入金**……………基金や特別会計からの繰入金です。
- 使用料・手数料**…施設の使用料、住民票や戸籍の謄本・抄本の手数料などです。
- 諸収入**……………雑入などです。
- 地方交付税**……………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- 国庫支出金**……………国からの負担金や補助金です。
- 県支出金**……………県からの負担金や補助金です。
- 市債**……………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- 地方譲与税**……………国税から譲与されるものです。

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	67億5,450万円
介護保険	56億1,160万円
立花台地開発事業	2,528万円
公共下水道事業	19億6,429万円
農業集落排水事業	1億2,516万円
市営駐車場	1,238万円
後期高齢者医療	13億206万円
計	157億9,527万円

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	13億3,117万円
	支出	13億3,117万円
資本的収支	収入	8億1,588万円
	支出	17億3,516万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	207億2,447万円	
特別会計	公共下水道事業	133億1,628万円
	農業集落排水事業	11億6,798万円
計	352億873万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	47億5,427万円
	工業用水道事業	151億3,750万円
計	198億9,177万円	

※平成25年3月補正後の金額です。
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に



充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。平成25年度は、表1のとおり7つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、157億9527万円となっています。

- 国民健康保険特別会計
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付を行うための会計です。
- 介護保険特別会計
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスをを行うための会計です。

- 立花台地開発事業特別会計
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。
- 公共下水道事業特別会計
快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です。
- 農業集落排水事業特別会計
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。
- 市営駐車場特別会計
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

企業会計

- 後期高齢者医療特別会計
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計です。

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けられるものとして、次の2つの企業会計を設けています。それぞれ会計ごとの予算額は表2のとおりです。

市債現在高

- 水道事業特別会計
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。
- 工業用水道事業特別会計
工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

新しい伊万里の創造へ

豊かで安心できる伊万里をめざし 市政の発展に全力を傾注します

平成25年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部市長が平成25年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介いたします。

平成25年 第1回定例会 所信表明

はじめに

平成14年4月の市長就任以来、私は『住みたいまち伊万里 行きたいまち伊万里』を目標として掲げ、市民が主役の活気に満ちた地域社会の実現をめざし市政運営に邁進してきました。

3期目にあたっては、伊万里の一層の元気をめざし、尊い命と健康を守る伊万里有田共立病院の開院など地域医療の確保、あるいは、上水道第9次拡張事業や西九州自動車道など都市基盤の整備、そして、婚活や家読の取り組み、子育て支援の充実など、市民

の皆さんとの協働により今日の伊万里市を築いてきました。市制施行60周年を来年に控え、平成25年度は私にとって市長任期3期目の総仕上げの年となることから、これまでの市政運営の実績のうえに、長い歴史に培われた伝統を守り継承しながら、未来を見据え知恵と工夫により、新しい伊万里市を創り出していくことが、私の使命であると決意を新たにしています。

時代潮流と社会情勢

今、国際社会は、近隣諸国において指導者の交替などが相次ぎ、また、世界経済は緩やかな回復状態が継続するとされているものの、欧州債務危機の影響などにより、その動向は予断を許さない状況にあります。

国内においては、東日本大震災からの復興をはじめ国土

の領有権に関する問題など大きな課題を抱えるとともに、産業の空洞化や雇用情勢の悪化が進行する中であって、昨年12月に発足した新政権においては、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略からなる『三本の矢』により、経済の再生が推し進められています。地方においても、頻発する集中豪雨などの異常気象や原子力発電事故などの危機管理への対応、そして、地域の活力に大きな影響を及ぼす少子高齢化や人口減少など、困難な課題が山積しています。

市政運営の基本方針

このような諸情勢の中で、本市が活力ある都市として持続的に発展していくためには、堅実性の中にも確かな成長力を蓄えながら、少子高齢化への対応や財政の健全化など直面する政策課題に対応した市政運営に取り組み必要があります。このため、私は、市民の皆さんが郷土に夢と誇りを持ち、豊かさを実感し安心して暮らすことができる伊万里市の創造を基軸として、市政の発展に全力を傾注していく覚悟です。



議場で所信表明を行う塚部市長

伊万里市長 塚部 芳和



主要な施策

政策の推進にあたっては、総合計画に定めた将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現をめざし、重点的な事業の展開に努めます。

安心と安全の確保

国においては、原子力発電施設から30キロ圏を原子力災害が発生した場合に対策を重点的に実施するための区域（UPZ）に設定し、本市は地域のほぼ全域が含まれることから、防災行政無線や避難道路の整備などの原子力防災対策に取り組むため、電源立地地域対策交付金などの充実に働きかけていきます。

また、消防体制の充実強化を図るため平成26年度に予定している有田町との消防広域化にあわせ、デジタル化に対応

した消防救急無線や通信指令システムの整備を行い、通信の機密性確保や迅速で効率的な消防救急活動の展開を図るほか、災害時における自主的で円滑な避難を促すため引き続き住民自らの手による防災マップ作成の全市的な取り組みを進めます。

さらに、依然として進行している少子化に対応するため、子どもや子育て家庭の状況など子育てに関するニーズの把握に努め、保育サービスの事業量や提供体制などを具体的に盛り込んだ、子ども子育て支援事業計画の策定を進めます。

県西部4市5町で整備を行う広域ごみ処理施設については、平成27年度の完成に向け、処理施設本体の建設工事や関連道路の改良工事などに取り組みとともに、地元松浦町の地域振興に向けた事業について協議を進めます。

将来に向けたひとづくり

読書を通して家族の絆を深める家読については、九州で初めてとなる家読の集いを開催し、事例発表やパネルディスカッションにより九州各県の自治体や公共図書館など参

加者相互の情報交換や交流を図るとともに、市民の皆さんへのさらなる普及に努めます。また、未来の伊万里を担う子どもの教育環境の充実を図るため、二里小学校において、平成26年度の供用開始をめざし、新校舎の建築や耐震補強などに取り組みます。

さらに、友好交流都市である中国・大連市へ市民訪問団を派遣し、人的交流のさらなる拡大を図るとともに、ふるさと創生人材育成基金を活用し、地域づくりの担い手として、広い視野を持つ次代を創る人材の育成に努めます。

活力あるまちづくり

北部九州における国際物流の拠点港である伊万里港については、七ツ島地区において、大型化するコンテナ船への対応として、水深13メートル岸壁とガントリークレーンが供用開始されるため、コンテナで輸出する荷主に対する助成制度を佐賀県とともに創設し、取扱貨物量の増加を図ります。さらに、伊万里港における物流の効率化を図るため、伊

万里湾大橋の完全4車線化や臨港道路七ツ島線の早期完成を促進するほか、福岡都市圏との交流のための交通網として、平成26年度に市内への開通が予定されている西九州自動車道をはじめ、県道伊万里有田線（セラミックロード）や都市計画道路大坪木須線の整備を促進します。

交流人口の拡大を図るための観光戦略については、新たに会員制による伊万里ファンクラブを創設し、伊万里ブランドとして名高い伊万里焼や伊万里牛をはじめ四季を通じての特産品を配送するなど、全国に向けた本市の魅力に関する情報発信に努めます。

また、新たな地域の活性化の取り組みとして、市内高校野球部の甲子園出場を支援するため、政策経営部内に新たに担当部署を設置し市民参加型の甲子園プロジェクトに取り組むとともに、市外の高校生や大学生などの学生スポーツ団体が市内で合宿を行う場合に、宿泊費補助や施設利用料の減免などを行う助成制度を新たに創設します。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。

安心で健やかな暮らしづくり



市老人クラブ連合会主催のシルバー体育祭

地域における身近な福祉ニーズの把握や相談などを行う民生委員・児童委員の活動を支援するとともに、社会福祉協議会と連携しボランティアなどの市民の福祉活動への参画を促進するなど市民の意識の高揚を図ります。

高齢者が安心して自立した生活を営むことができるよう、高齢者福祉計画および介護保険事業計画の改定を進めるほか、必要に応じた介護保険サービスを提供するとともに、緊急通報システム機器の設置に取り組みます。

障害者支援の充実については、障害のある人の自立のための職業訓練の支援や介護給付など障害福祉サービスの提供に努めるほか、障害のある児童への集団生活や生活能力向上のための訓練や指導を行うとともに、身体に障害を有している児童などが将来自立して生活するために必要な手術などの医療費に対し新たに支援を行います。

安心して子育てができるよう、児童手当の給付や子どもの医療費助成に加え、新たに未熟児の入院などに要する医療費の給付を行うなど、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るほか、一時預かりや延長保育、病後児保育などの多様な保育ニーズへの対応に努めます。

子宮頸がんをはじめ、ヒブや小児用肺炎球菌のワクチン接種を定期予防接種に加えるなど感染症の予防に努めるほか、各種健康診査や保健指導により、疾病の早期発見と早期治療につなげるとともに、人間ドックや脳ドックの受診への支援を後期高齢者へ拡大するなど、保健活動を推進します。

身体障害者の障害部位の加療により、改善または機能維持が図られる場合（人工透析、心臓手術など）に医療費の給付を行います。

●**身体障害者更生医療給付事業**

8233万円

財源 国216万円 県108万円
市109万円
▼福祉課

●**身体障害児育成医療給付事業**

433万円

財源 県54万円 市210万円
▼長寿社会課

●**老人クラブ活動事業**

264万円

財源 市850万円
▼長寿社会課

●**シルバー人材センター支援事業**

850万円

財源 市186万円
▼長寿社会課

●**緊急通報システム事業**

186万円

財源 市186万円
▼長寿社会課



視覚障害者の生活を体験する活動

●**医療費助成事業** 1億4526万円
心身に重度の障害を持つ人やひとり親家庭などに対して、医療費の一部を助成します。
財源 県7263万円 市7263万円
▼福祉課

●**障害児通所給付事業** 3615万円
障害児の児童福祉施設への通所サービスに対して給付を行います。
財源 国1751万円 県875万円 市989万円
▼福祉課

●**障害者自立支援給付事業** 9億1386万円
障害者やその保護者に対して障害福祉サービス利用の支援などを行い、障害者の自立や社会参加を促します。
財源 国4億5636万円 県2億2818万円 市2億2932万円
▼福祉課

財源 国4107万円 県2053万円 市2073万円
▼福祉課

●子ども・子育て支援事業計画策定事業
215万円

進行する少子化に対応した保育サービスの充実を図るための『子ども・子育て支援事業計画』の策定に向け、本年度は調査分析を行います。

財源 市215万円 ▼福祉課

●未熟児養育医療給付事業
335万円

低体重状態や生命維持に支障をきたす症状の未熟児は高度で高額な医療を必要とするため、医療費助成を行います。

財源 分担金75万円 国130万円 県65万円 市65万円 ▼福祉課

●子どもの医療費助成事業
9423万円

小学校就学前の子どもが通院・入院した際の医療費（保険診療分）自己負担分や小中学生の入院費自己負担分を助成します。

財源 諸収入122万円 県4584万円 市4717万円 ▼福祉課

●児童手当支給事業
10億8662万円

次世代を担う子どもたちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に児童手当を支給します。

財源 国7億5687万円 県1億6351万円 市1億6624万円 ▼福祉課

●子育て支援センター管理運営事業
652万円

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時預かりや休日保育など、子育て世代への支援を行います。

財源 使用料71万円 国408万円 県71万円 市102万円 ▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業
6264万円

就労などの理由で昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し健全な育成を図ります。

財源 使用料2145万円 県2606万円 諸収入60万円 市1453万円 ▼教育総務課



保育園児が元気に歌って踊る『心ふれあいうたフェスタ』

●病後児保育事業
450万円

保護者が就労などにより病後回復期の子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預かり、保育を行います。

財源 県160万円 市290万円 ▼福祉課

●予防接種事業
1億6159万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種や高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します。

財源 市1億6159万円 ▼健康づくり課

●健康増進事業
3788万円

市民の健康保持を目的として、各種検診や健康診査、健康相談などを実施します。

財源 国466万円 県146万円 繰入金70万円 諸収入569万円 市2537万円 ▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業
5363万円

乳幼児が心身ともに健やかに育つよう健康診査を行うとともに、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産できる体制を確保するため、妊婦健診を公費負担により実施します。

財源 県314万円 市5049万円 ▼健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合事業
2億8324万円

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う伊万里有田共立病院事業に対し、その運営経費を負担します。また、旧伊万里市民病院の建物解体に要する経費を負担します。

財源 市2億8324万円 ▼健康づくり課

●病院群輪番制病院運営事業
1億3060万円

初期救急医療（休日・夜間急患医療センター、在宅当番医制）の後方支援として、休日において入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制により開院する伊万里・有田地区内の10病院に対し、運営に要する経費の補助を行います。また、国・県の補助金を活用し、輪番制を担当する病院の医療設備整備に対し補助を行います。

財源 国4200万円 県8400万円 諸収入167万円 市293万円 ▼健康づくり課

●生活保護事業
11億3188万円

生活困窮者に対して、必要な保護を行うことにより最低限度の生活を保障し、自立を助長します。

財源 国8億4891万円 県2720万円 市2億5577万円 ▼福祉課

創造的で心豊かなひとづくり



友情の輪が広がる波多津小学校の『一輪ピック』

生涯学習を推進するため、各町公民館などを拠点として伊万里の歴史や伝統を学ぶ伊万里学など地域の文化づくり活動を促進し、地域を担う人材の養成に努めます。

学校教育においては、児童生徒の確かな学力の定着を図るため教職員の指導力の向上に努めるほか、いじめや保健室登校など心理的負担を抱える児童や保護者などの相談へ対応するためスクールカウンセラーを配置するとともに、障害のある児童生徒の学校生活を支援するなど教育環境の充実を図ります。また、学校適応指導教室において学習や体験活動を通して不登校の児童生徒の学校生活への復帰意欲の向上に取り組みます。

県民体育大会が本市を会場の一つとして開催されることから競技用の備品などを整備するとともに、県民体育大会に出場する選手の強化を支援するほか、市内一周駅伝など各種競技スポーツ大会の開催をはじめ、体育協会や競技団体などの活動を支援し競技力の向上を図ります。

大川内山を形づくる史跡や町並みを将来に継承するための計画を市民との協働により策定するとともに、市内各地に点在し史料価値を有する窯跡へのパトロールや警告看板の設置などの保護活動に取り組むほか、地域の貴重な民俗芸能などの保存活動を支援します。



創意工夫をしながら行われる授業の風景

●伊万里塾推進事業

56万円

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します。

財源 市56万円

▼生涯学習課

●家読推進事業

32万円

他自治体との情報交換や交流を通じて、本市の家読のさらなる推進を図る目的から『佐賀県うちどくネットワーク』を中心に取り組み、本年度は『九州うちどくネットワークフォーラムin伊万里』を開催します。

財源 繰入金32万円 ▼市民図書館

●ブックスタート事業

36万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対し、3か月健診時に絵本を配布するとともに、ボランティアと協働で読み聞かせを行います。

財源 繰入金36万円

▼市民図書館

●小学校建設事業

3億8393万円

老朽化の著しい二里小学校について、継続費を設定し、2か年で校舎の建設を行います。

財源 国1億55万円 繰入金7000万円 市債2億860万円 市478万円 ▼教育総務課

●学力向上対策推進事業

58万円

小中学校の学力調査の実施とともに小学校においては知能テストや市独自の漢字検定などを実施し、学力の実態把握や分析、指導方法の改善を行い、今後のきめ細やかな指導の充実を図ります。

財源 市58万円

▼学校教育課

●特色ある学校創造事業

30万円

児童生徒の学力向上や豊かな心の育成を図るため、各学校が学校や地域の実態に応じて事業を企画立案し、特色ある学校づくりを推進します。

財源 市30万円

▼学校教育課

●家庭・学校・地域連携支援事業

60万円

家庭と学校と地域が連携し、地域全体で子どもたちの健やかな育ちや学力向上を支援するための体制づくりに必要な経費について補助を行います。

財源 県30万円 市30万円

▼学校教育課



地元食材を給食で味わう『ふるさと食材伊万里の日』

●特別支援児童生徒サポート事業

58万円

小中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの特別な支援を必要とする児童生徒に対して臨時職員を配置し、学習・生活支援を行い自立を支援します。

財源 市58万円 ▼学校教育課

●学校適応指導教室事業 379万円

生涯学習センターと旧ポリテクセンター内に学校適応指導教室『せいら』、『せいら西』を開設し、学習や体験活動を通して不登校児童生徒の学校復帰を支援します。

財源 市379万円 ▼学校教育課

●スクールカウンセラー事業

297万円

教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校、いじめなど子どもや保護者が抱える悩みについて、適切なカウンセリングを実施します。

財源 県99万円 市198万円 ▼学校教育課

●青少年相談・補導活動事業

177万円

いじめや不登校、非行などの問題行動が増加する中で、子どもや家庭が抱える悩みなどを相談できる体制や環境を確立し、問題の早期解決に努めます。

財源 財産収入2万円 市175万円 ▼生涯学習課

●放課後子ども教室推進事業

87万円

安全で安心できる子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域のボランティアの参画を得て、子どもたちとともにさまざまな学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進します。

財源 県58万円 市29万円 ▼生涯学習課

●学校給食センターPFI事業

1億6202万円

民間の資金、経営能力などを活用し

たPFI手法により整備を行った学校給食センターの建設経費などを、平成18年度から平成33年度までの16年払いで支払います。

財源 市1億6202万円 ▼体育保健課

●県民体育大会開催事業新

40万円

県内4ブロックの持ち回りで開催されている県民体育大会を、今年は本市や有田町、唐津市、玄海町で開催します。

財源 市40万円 ▼体育保健課

●スポーツ振興支援事業

405万円

市民スポーツの振興を図るため、市体育協会などに対する各種補助を行います。

財源 市405万円 ▼体育保健課

●スポーツ合宿誘致推進事業新

50万円

国見台などの市内体育施設を活用して大学や高校など学生のスポーツ合宿を誘致し、合宿に要する費用の一部を助成することで、スポーツの振興とともに経済的効果の創出など地域活性化を図ります。

財源 市50万円 ▼体育保健課

●大連市友好交流伊万里市訪問団派遣事業新

92万円

友好交流都市である中国大連市との交流を発展させるため、市民訪問団派遣事業を毎年恒例の交流事業とし



今年度が60回目の開催となる市内一周駅伝大会（写真は昨年度分）

て定着させ、市民の大連市に対する理解を深め、草の根交流の拡大をめざします。

財源 市92万円 ▼国際交流室

●史跡大川内鍋島窯跡保存整備事業

87万円

大川内山の『歴史的資産』『町並み』『周辺景観』の3つの資源について、個々の特徴を明らかにするために地元と専門家を交えて協議を行うとともに、今後の活用方法をまとめた総合的な計画の策定を行います。

財源 県69万円 市18万円 ▼生涯学習課

活気あふれる産業づくり



伊万里秋祭りに華を添える市民総踊り

農業の振興を図るため、農業用機械や施設の整備に対する支援を行い、水稻をはじめ、野菜や果樹など園芸作物の生産性向上と産地競争力の強化に取り組むとともに、新たに冬季のイノシシの捕獲についても対策を行うなど年間を通じた有害鳥獣への対策を行います。

林業については、切り捨て間伐材を収集し、木質バイオマス発電の燃料となる木材チップに加工する事業者の設備投資を支援します。

新たな企業の誘致や雇用の拡大に向け、七ツ島工業団地や遊休地への積極的な立地勧奨を行うとともに、工業用水の安定的な供給を図るため、長浜浄水場において中央監視制御設備の更新を行います。

中心市街地における集客と情報発信の拠点施設である「伊万里まちなか一番館」の運営を支援し、まちなかの賑わい創出を図るとともに、伊万里商工会議所など関係団体との連携により、商店街における集客に取り組みます。

観光の振興については、伊万里の魅力を映像で伝えるDVDなどを作成し、情報発信を強化するとともに、福岡都市圏などにおいて伊万里焼や伊万里牛をはじめとする特産品のPR活動を展開します。

岸壁や施設の整備により伊万里港の港湾機能が大幅に向上することから、さらなる利用促進を図るため、集荷活動や新規航路の開拓など行政と民間が一体となったポートセールス活動を展開します。



生産者の情熱が伊万里の農業を支えています

● **経営体育成支援事業** **507万円**

地域農業の持続的発展を図るため、地域の中心となる経営体の経営規模の拡大に必要な農業用機械・設備の導入に対して支援を行います。

財源 県507万円 ▼ **農業振興課**

● **強い農業づくり交付金事業** (園芸対策新) **8114万円**

生産から流通までの総合的な強い農業づくりを推進するため、高品質・高付加価値化、低コスト化などの取り組みに必要な施設の整備に対して支援を行います。

財源 県8114万円 ▼ **伊万里梨課**

● **農地・水保全管理支払交付金** (共同活動支援) **事業 1358万円**

農地、農業用水などの資源および農村環境が将来にわたり良好な状態で保全管理され、その質的な向上が図

られるよう、地域ぐるみの共同活動に対して支援を行います。

財源 県32万円 市1326万円 ▼ **農山漁村整備課**

● **米・麦・大豆競争力強化対策事業** **786万円**

水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図るため、省力・低コスト化の条件整備や売れる米・麦・大豆づくりの推進に必要な機械・施設の整備や活動に対して支援を行います。

財源 県610万円 市176万円 ▼ **農業振興課**

● **強い園芸農業確立対策事業** **2599万円**

強い園芸農業を確立するため、省資源・環境保全型の園芸生産や新たな園芸生産の取り組み拡大に向けた機械・施設などの整備に対して支援を行います。

財源 県2072万円 市527万円 ▼ **伊万里梨課**

● **有害鳥獣対策事業** **1074万円**

農作物に深刻な被害をもたらす有害鳥獣対策として、駆除や捕獲に要する経費を助成するとともに、駆除従事者の確保を図るため、ワナおよび銃に係る狩猟免許取得に要する経費を助成します。

財源 市1074万円 ▼ **農業振興課**

●中山間地域総合整備事業

1763万円

中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力のある農村づくりを推進するため、農業生産基盤や生活環境基盤等整備を総合的に実施します。

財源 分担金345万円 市債60万円
市1358万円 ▼農山漁村整備課

●森林整備加速化・林業再生事業(新)

2億7642万円

間伐材などの地域木材を有効利用するための設備投資に要する経費に対して支援を行い、林業・木材産業などの地域産業の再生を図ります。

財源 県2億7690万円 市△48万円
▼農山漁村整備課

●林道整備事業

360万円

県代行事業として整備を進めている林道の境界杭設置などを行うとともに、林道の整備に必要な用地を購入します。

財源 市債70万円 市290万円
▼農山漁村整備課

●合併漁協水産振興事業(新)

80万円

『佐賀玄海漁業協同組合』が実施する施設整備などに対して補助を行い、経営の安定および地域水産業の振興を図ります。

財源 市80万円 ▼農山漁村整備課

●工場等設置奨励事業

8326万円

投下固定資産額が一定要件を満たす企業に対して不均一課税(半島振興法)および通常課税を行い、不均一課税分については翌年度に納税額を奨励金として交付し、工場などの新設、増設の推進を図ります。

財源 市8326万円
▼企業誘致・商工振興課

●企業等経営安定化支援事業(中小企業振興資金預託金)

2億3000万円

市内中小企業の資金調達の円滑化を図るための原資を金融機関へ預託します。

財源 諸収入2億3000万円
▼企業誘致・商工振興課

●緊急雇用創出基金事業

8669万円

雇用情勢の悪化を受け、国からの交付金を財源として県で創設された緊急雇用創出基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります。

財源 県8669万円
▼企業誘致・商工振興課

●商業団体等活動支援事業(伊万里まちなか活性化運営協議会補助金)

839万円

伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちづくり団体が中心となつて取り組む中心市街地活性化に向けた各種事業に対して補助金を交付します。

財源 県40万円 市799万円
▼企業誘致・商工振興課

●伊万里市観光協会事業

333万円

伊万里市の観光情報の発信や案内などを行う伊万里市観光協会に対して支援を行います。

財源 市333万円 ▼観光課

●伊万里ブランド販売促進事業(新)

475万円

伊万里の特産品の認知度向上や販売促進を図るため、年会費に依りて四季を通じた伊万里産特産品の配送や情報提供を行う伊万里ファンクラブ事業などを実施します。

財源 繰入金100万円 諸収入375万円 ▼観光課

●グリーン・ツーリズム推進事業

403万円

農林漁業の体験、ムラ泊、畑の中のレストラン、軽トラ市などに取り組む伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会に対して補助を行います。

財源 市403万円 ▼観光課

●甲子園プロジェクト支援事業(新)

8万円

全国の注目を集める甲子園出場をテーマに、各種団体機関などとの連携による取り組みを展開し、地域の連帯感を醸成するとともに、交流人口を拡大し、地域の消費を誘発するため、組織の立ち上げおよび事業の事前協議などを行います。

財源 市8万円 ▼地域振興・公共交通対策課

●伊万里港ポートセールス推進事業(伊万里港コンテナ貨物助成事業負担金(新))

500万円

水深13m岸壁、ガントリークレーンの供用開始を伊万里港の利用拡大の好機と捉え、伊万里港を利用してコンテナを輸出する荷主に対する助成制度を港湾管理者である佐賀県とともに創設し、輸出入バランスの改善に取り組みます。

財源 市500万円 ▼伊万里港総合開発・国道対策課



伊万里には自慢の特産品がいっぱい

安全で快適な地域づくり



市民と地域の安全を守る消防団員

市民生活における交通の円滑化を図るため、都市計画道路陣内白野線の全線開通に向け計画的な事業の進捗を図るとともに、地域の生活道路である市道の改良や補修を行うほか、橋りょうの適正な維持管理を行うための長寿命化修繕計画の策定に取り組みます。また、地域の移動手段を確保するため、松浦鉄道の施設整備に対する支援を行うほか、コミュニティバスであるいまりんバスの運行に取り組みとともに、東山代元気バスの運行を支援します。

高品質な水道水を供給するため、有田川浄水場において膜ろ過方式の導入による浄水施設の更新に着手します。また、波多津簡易水道と木場簡易水道においては給水区域の拡張に取り組み、水道未普及地域の解消に努めます。

空き家などの所有者などに対し適正な管理を促すため、除却なども含めた対策を講じます。また、一般住宅のリフォームや耐震診断に対する支援を行い、安全で快適な住環境の整備を図ります。

環境保全については、水質や大気の調査を定期的に行うとともに、市民との協働による市民大清掃や伊万里湾岸清掃をはじめ、不法投棄監視のための巡回を実施するなど生活環境の向上に取り組みます。

消防・救急体制の充実を図るため、消防の広域化に向け、市民への迅速で効果的な情報発信や事務の効率化を図るためのシステム整備を行います。

全国的な問題となっている飲酒運転撲滅に向けた市民大会を開催し、飲酒運転の危険性などに関する市民意識を高め、交通安全対策を推進します。

●都市計画道路整備事業(陣内白野線) **6246万円**

都市計画道路陣内白野線の国道202号への接続に向けて整備を行います。

財源 国3388万円 市債2770万円 市88万円 ▼都市開発課

●道路維持事業 **5760万円**

市内全域の市道の維持補修工事などを行います。

財源 市5760万円 ▼建設課

●橋りょう長寿命化修繕計画策定事業 **800万円**

橋りょう(道路橋)の老朽化について、今後の予防的な補修などを計画的に行う必要があることから、長寿命化修繕計画を策定します。

財源 国440万円 市360万円 ▼土木管理課

●公共交通支援事業(松浦鉄道施設整備事業費補助金) **1136万円**

第三セクターである松浦鉄道の円滑な事業運営のため、車両更新や設備更新などの経営強化に対して支援を行います。

財源 市1136万円 ▼地域振興・公共交通対策課

●路線バス運行事業 **2289万円**

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地



昨年7月にスタートし、市民に親しまれているいまりんバス郊外線

域密着型の「いまりんバス」を運行するとともに、東山代「元気バス」に対して支援を行います。

財源 市2289万円 ▼地域振興・公共交通対策課

●有田川浄水場更新事業(水道事業特別会計) **6億8548万円**

施設の老朽化や水源の水質変化などに対応し、安全で安心できる良質な水道水を供給するため、浄水施設の更新を行います。

財源 国1億6084万円 市債4億円 市1億2464万円 ▼工務課

●波多津簡易水道区域拡張事業(深谷地区)(水道事業特別会計) **1050万円**

水道未普及地域である波多津町木場(深谷地区)に水道施設を整備し、波多津簡易水道の給水区域を拡張します。

財源 国346万円 市704万円 ▼工務課

●木場簡易水道区域拡張事業（大知木）
【水道事業特別会計】新 771万円
 水道未普及地域である波多津町木場（大知木地区）に水道施設を整備し、木場簡易水道の給水区域を拡張します。
 財源 国270万円 市501万円
 ▼工務課

●井手口川ダム周辺施設管理事業新
161万円
 井手口川ダム周辺の公園のうち3か所について市が管理を行います。
 財源 市161万円
 ▼地域振興・公共交通対策課

●都市公園管理事業 3774万円
 都市公園38施設の清掃、樹木などの剪定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います。
 財源 使用料18万円 諸収入7万円 市3749万円
 ▼都市開発課

●空き家等対策事業新 255万円
 今年1月に施行した『空き家等の適正管理に関する条例』に基づき、危険な空き家などに対して適正な措置を行います。
 財源 国112万円 市143万円
 ▼建設課

●地域住宅総合整備交付金事業 5317万円
 老朽化が著しい市営住宅について、社会資本整備総合交付金を活用し、

改修工事を行います。
 財源 国2566万円 市債2720万円 諸収入10万円 市21万円
 ▼建設課

●住宅リフォーム緊急助成事業 3894万円
 住宅投資による地域経済の活性化および住宅の耐久性・耐震性の向上などを目的に創設された『佐賀県住宅リフォーム緊急助成事業』を活用し、住宅のリフォーム工事に対して助成を行います。
 財源 県3894万円
 ▼建設課



佐賀県西部広域環境組合が建設を進めている広域ごみ処理施設の予想図

●公共下水道事業【公共下水道事業特別会計】 19億6429万円
 快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を推進します。
 財源 国500万円 市6億7000万円 市債6億8630万円 使用料など6億299万円
 ▼下水道課

●浄化槽設置整備事業（浄化槽設置整備事業補助金） 2672万円
 浄化槽を設置する世帯に対して補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図ります。
 財源 国891万円 県890万円 市891万円
 ▼下水道課

●浸水対策事業 2億7638万円
 満潮時と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区について、雨水渠や排水機場などの整備を行います。
 財源 国1億3650万円 市債1億3360万円 市628万円
 ▼下水道課

●ごみ処理広域化推進事業 9041万円
 佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合に対して経費を負担し、新施設の建設を推進します。今年度は、ごみ処理施設建設工事や敷地造成工事、市道宿分中通線道路改良工事などを行い

ます。
 財源 市9041万円
 ▼環境課

●資源ごみ回収奨励事業 297万円
 リサイクル推進やごみ減量化対策の一環として、資源ごみの回収団体に対して補助を行います。
 財源 市297万円
 ▼環境課

●塵芥処理管理事業 1億4396万円
 ごみを分別収集するための指定ごみ袋などの作製を行うとともに、一般廃棄物の収集運搬を業者へ委託し実施します。
 財源 手数料1億558万円 諸収入30万円 市3808万円
 ▼環境課



多くの来場者で賑わうリサイクルフェアのバザー

●環境センター管理運営事業

2億9792万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、老朽化した焼却施設を安全に稼働できるように管理運営を行うとともに、ごみのリサイクル処理を行います。

財源 諸収入1312万円 市2億8480万円 ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合事業

2億8294万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理や火葬場事業などに対し、その運営経費を負担します。

財源 市2億8294万円 ▼環境課

●消防広域化推進事業

7470万円

平成26年4月からの伊万里・有田消防組合の事務処理開始に向けた各種システムの整備などを行います。

財源 負担金2619万円 市4851万円 ▼消防本部

●消防救急無線デジタル化整備事業

3億6093万円

電波法関係審査基準の改正に伴い、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ完全移行するため、伊万里市と有田町で共同整備を行います。

財源 負担金1億2632万円 市債2億1090万円 市2371万円 ▼消防本部

●消防緊急通信指令システム整備事業

2億612万円

消防救急無線のデジタル化に伴い、消防緊急通信指令システムについて伊万里市と有田町で共同整備を行います。

財源 負担金7214万円 市債1億2050万円 市1348万円 ▼消防本部

●救急救命士養成事業

285万円

救急業務体制の充実強化を図るため、高度な救急処置を行うことができる救急救命士を養成します。

財源 市285万円 ▼消防本部



交通事故なしを願って伊万里梨を配布する子どもたち

●非常備消防車両等整備事業

290万円

消防団に配備されている小型動力ポンプなどのうち老朽化したものについて更新を行います。

財源 諸収入277万円 市13万円 ▼消防本部

●災害対策事業（わがまち・わが家の防災マップ作成費補助金）

90万円

地域における防災対策として、地域の実情を調査し、住民に周知することができる地域の防災マップ作成に係る費用について、一部補助を行います。

財源 市90万円 ▼総務課

●急傾斜地崩壊防止事業

1520万円

家屋などの後背地の急傾斜地や崖地

の崩壊による被害を未然に防止するための工事を行います。

財源 分担金380万円 県760万円 市380万円 ▼建設課

●総合流域防災事業

4887万円

準用河川煤屋川について、狭小で蛇行しているため台風や豪雨時は頻繁に氾濫し、農地や家屋に浸水被害を及ぼしていることから、改修工事を行います。

財源 国1600万円 市債3160万円 市127万円 ▼土木管理課

●交通安全の啓発・広報事業（飲酒運転ゼロ市民大会）

16万円

本市は飲酒運転の検挙者数が県内最多であるため、広く市民に対して飲酒運転の悪質性や危険性、悲惨などを訴える『飲酒運転ゼロ市民大会』（仮称）を開催します。

財源 市16万円 ▼総務課

●交通安全施設整備事業

913万円

歩行者の安全確保のため、既存歩道の段差解消や拡幅などを行います。

財源 国495万円 市債400万円 市18万円 ▼建設課

●防犯灯設置費助成事業（防犯灯設置費補助金）

120万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対して事業費の一部を補助します。

財源 市120万円 ▼総務課



昨年度初めて行われた伊万里市原子力防災訓練で給水を体験する男の子

自立と協働のまちづくり

行政への市民の関心を高めるため、広報紙やホームページなどを用いた的確で迅速な行政情報の提供に努めます。また、重要な施策などの決定におけるパブリックコメントの実施や伊万里っ子ポストによる提案に加え、市民の皆様とのまちづくりに関する意見交換の場として各町において『市長出前まちづくり座談会』を開催するなど、市民の声を市政へ反映するように努めます。

各町で主体的に取り組まれているまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業の支援に努めるなど、市民と行政との協働による取り組みを進めます。

男女協働参画基本計画・DV被害者支援基本計画に基づき、総合的な施策の展開を図るとともに、いまりプラザとの連携により啓発活動を推進するほか、女性の自立に関する専門相談員を配置し、配偶者などの暴力をはじめ家庭や子育てなど女性が抱える問題などの解決に向けた支援に取り組みます。

効率的な行財政の運営に向け、平成26年度を初年度とし5年間の市政運営の中期的な指針となる第5次伊万里市総合計画の後期基本計画を策定するほか、建設から長期間が経過し老朽化が進む市の公共施設の効率的な維持管理をはじめ、施設の建替えや改修など長寿命化を図るための計画を策定します。



主体的にまちづくりに取り組む市民活動団体

●地域の元気推進事業 819万円

地域の課題に対応した、住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町（地区）公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』に対して助成を行います。

財源 繰入金818万円 市1万円

▼男女協働・まちづくり課

●次代を創る研修事業 76万円

時代の変化に柔軟に対応できる人材を育成するため、一般財団法人電源地域振興センターの人材育成事業などを活用し、テーマごとの研修に市民と職員を派遣するとともに、市民や団体向けの講演会を開催します。

財源 財産収入9万円 繰入金67万円

▼男女協働・まちづくり課

●第5次総合計画後期基本計画策定事業 132万円

第5次伊万里市総合計画前期基本計画が平成25年度をもって計画期間満了を迎えるため、平成26年度以降の5年間における市政運営の指針となる後期基本計画を策定します。

財源 市132万円 ▼企画政策課

●地籍調査事業 1億1459万円

公共財産の保全とともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町や波多津町の一部の地籍調査を行います。

財源 手数料15万円 県7425万円

諸収入53万円 市3966万円

▼地籍調査課

●戸籍電算化事業（戸籍副本データ管理システム対応連携業務等委託料） 227万円

国が新たに設置する戸籍副本データ管理センターのシステムに対応するため、本市の戸籍情報システムとの連携および適応作業などを行います。

財源 市227万円 ▼市民課

●財産管理事業（PCB廃棄物処理運搬委託料） 1944万円

庁舎敷地内の倉庫および市民会館にて保管しているポリ塩化ビフェニル廃棄物（蛍光灯などの安定器に使用）の処分を行います。

財源 市1944万円 ▼財政課



各町で実施されている市長出前まちづくり座談会

未来へダッシュ!



広報 **伊万里**

平成 25 年度 予算特集号

- 発行日／平成 25 年 4 月 15 日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313 (ダイヤルイン)
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社